



神戸大学附属小学校だからこそできること ー宿泊活動 編ー

副校長 赤川峰大

KU ミーティングの副題にあるように、私は、“神戸大学附属小学校だからこそできること”が大切だと考えています。それが本校を選んでくださったご家庭の期待に応えることにもなるからです。今回は、本校ならではの宿泊活動についてお伝えしたいと思います。

本校の宿泊活動は、自然や文化などに親しむことやよりよい人間関係を築く体験を積むという特別活動の目的に加え、「現地で探究的な活動を行うこと」を目的にしていることが特徴的です。これは本校の伝統的な取組となっています。しかしその分、場所の選定は大変です。子どもたちの学齢に合う探究的な活動ができる場所を見つけることがまず大変ですが、同時に自然や文化にも親しめ、仲間づくりにつながる活動ができる場所であればなりません。そこで、特別検討委員会を立ちあげ、旅行会社とも連携しながら時間をかけて多面的に検討しています。

今から8年前、6年生の宿泊活動は『シンガポール・マレーシア』でした。多文化共生社会に触れ、今後の日本社会について考えることが目的でした。学年懇談会ではたくさんの写真を使いながらその魅力と、安全対策などをお伝えしました。しかし保護者の方からは、「目的地が海外であること」に関する反対意見が多く寄せられました。保護者の皆様のご心配は十分理解できます。そこで学習材としての価値を詳細にお伝えするとともに、不測の事態を想定し学校が取れる対応の限界と、保護者の皆様にお願ひする対応を整理することで、少しずつ理解いただきなんとか宿泊活動を実現することができました。

その翌年の宿泊活動は、災害との向き合い方を探究することを目的に、『東北』に行き先が変更になりました。東北の宿泊活動について説明した学年懇談会で、保護者の皆様から今度は「海外が良かった」というご意見が多く寄せられました。一年前とは異なる様相に驚いたことを覚えています。

私はこの変容は、「子どもたちの姿」によってもたらされた部分が大いのではないかと考えています。帰国後に楽しい思い出を語る姿、多文化共生に触れた経験から今後の日本社会について考えたことを語る姿によって、海外での宿泊活動の価値が認知され、それが保護者間で学年を越えて共有された結果、変容が起きたのではないかと考えています。

本年度の宿泊活動についても、このような社会情勢ですから様々なご意見があっても当然だと思います。またそのご意見は、よりよい宿泊活動を考える上で必要不可欠です。しかし当然のことながら、全てのご意見を反映させようとするれば、本校ならではの魅力ある宿泊活動の実現できなくなります。例えば、近隣のアミューズメントパークでの宿泊活動であれば、安全上の懸念はほぼなくなるかもしれませんが、本校の宿泊活動が大切にしている探究的な学びの成立は困難です。ですから私たちは安全上の配慮をしながら、最大限、子どもたちのよりよい学びを実現する宿泊活動を創っていきたくと考えています。

ご心配は尽きないかもしれませんが、宿泊活動後の「子どもたちの姿」を楽しみに、ご理解とご協力をいただければ、ありがたく思います。

日	曜	7月の行事予定	8月の主な行事予定
1	金		23日(火) 育友会カーテン清掃
2	土		24日(水) 夏休みあけの会, 12:00 下校 iPad 返却日
3	日		25日(木) 給食開始, iPad 返却日
4	月	2年生校外学習	29日(月) 教育実習開始
5	火	ベルマーク集計作業, 図書ボランティア	
6	水	学校懇談会, 参観日, 学級・学年懇談会	
7	木		
8	金	2年生校外学習 3年生校外学習	
9	土		
10	日		
11	月	メディアスペース夏休み長期貸出 iPad 持ち帰り(14日まで)	
12	火		
13	水		
14	木		
15	金	夏休み前の会, 給食終了	
16	土	夏季休業開始	
17	日		
18	月	海の日	
19	火		
20	水		
21	木	育友会カーテン清掃・校内清掃活動	
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

		9月の主な行事予定
	5日(月)	中等教育学校附小生対象 オープンスクール(6年)
	6日(火)	クラブ活動①
	9日(金)	縦割り遠足(弁当日)
	16日(金)	縦割り遠足予備日 (弁当日)
	20日(火)	ベルマーク集計作業 図書ボランティア
	22日(木)	教育実習終了
	27日(火)	クラブ活動②
	28日(水)	参観日・学校懇談会 学校評価アンケート配布